

1 本年度の重点教育目標

温かな心で 仲間と共に 進んで学ぶ子

2 本年度の取組の重点

○自分の考えをもって表現しながら、丁寧に取り組む子どもの育成  
○おだやかに温かく人にかかわる子どもの育成  
○運動の楽しさや心身の健康の大切さを実感できる子どもの育成

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
確かな学力を育む教育の推進	学習習慣及び学習規律の確立による、基礎・基本の習得ができたか。	b	学習規律の定着の定期的な振り返りを行い、実態の交流だけでなく、具体的な指導についても共有する。	A	A	
	主体的・対話的に学習に取り組む授業形態・学習過程の工夫ができたか。	b	I C T を効果的に活用し、子ども主体の学習活動を位置付けた授業を積極的に展開する。	A	A	
	読書活動の充実ができたか。	a		A		読書活動が充実しているのに、学校評価での保護者の回答が低い。保護者への情報提供が少ないのではないか。工夫が必要だ。
豊かな心を育む教育の推進	豊かな心と規範意識を育む指導の充実ができたか。	b	異学年交流の充実を図る。挨拶や言葉遣い等、学校全体での共通した指導を継続する。	A	A	
	望ましい人間関係をつくり、集団生活の充実を図る取組の充実ができたか。	b	子ども同士のよりよい関係を形成する活動の場を設定し、かわりを広げる。	A	A	特性のある児童への指導・支援の充実を引き続きお願いしたい。
	道徳科の授業および体験活動の充実ができたか。	b	意図的な場や機会の設定による体験を通しての、道徳的実践力の育成を図る。	A	A	道徳の研修等充実を図っていたと思う。自己尊重の精神に裏打ちされた豊かな体験の充実を引き続きお願いしたい。
健やかな体を育む教育の推進	児童が進んで運動する体育科授業の展開ができたか。	b	I C T の効果的活用を含む、個々のめあての設定や振り返りにより、運動の楽しさやできた喜びを味わえる授業実践を行う。	A	A	
	教科外体育の充実及び体育的行事の充実ができたか。	b	体力づくり週間等により、全校児童が縄跳びなどの体力向上に取り組む期間を設ける。	A	A	
	保健指導・食育指導の充実ができたか。	a		A		指導の充実が図られている。
相互の連携を密にした地域の教育力の活用	コミュニティ・スクールの取組を行い、家庭・地域と一体となった学校運営を推進できたか。	a		A		学校・保護者・児童共に高く評価しており、一定の推進が図られた。
業務改善と工夫の実現	学校における業務改善に向けた取組を進めることができたか。	a		A		業務改善の努力が見られ、今後も負担にならないよう維持してほしい。

■ 自己評価達成状況

a. ほぼ達成できた。（8割以上）
b. 概ね達成できた。（6割以上）
c. 十分ではない。（4割以上）
d. 達成できなかった。（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A. 自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B. 自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正が必要である。
C. 自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D. 自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。